

授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書

金ヶ崎町立金ヶ崎中学校
平成 29 年度校報
第 15 号
平成 29 年 7 月 25 日発行
文責：遠藤

個別訪問指導 数 学 科

本年度も県教委で実施してる数学個別訪問指導を活用し、一人一授業提供を兼ねて数学科の先生方による授業力向上の研修を7月13日(木)に行いました。講師には県教委田村指導主事をお招きし、2年1組(授業者:高橋先生)と3年1組(授業者:佐々木先生)に授業を提供していただき分かるからできる授業への指導力向上に努めました。



努



2年1組は一次関数のグラフの特徴を探る授業、



3年1組は平方根の分母の有理化をする授業でした。どちらの学級でも意欲的に学習する生徒諸君の姿勢がとても良かったです。2つの授業提供後は数学科の先生方で

授業研究会を行い、田村先生からのご助言のもと授業力向上の研修会を行いました。

コムスクH29第1回 学校運営協議会

平成29年度より、金ヶ崎町教育委員会の指導のもと町内小中学校はコミュニティスクールに移行しました。基本的な学校の様子は今までと大きく変わることはなく1学期を経過しました。

このコミュニティスクールは、学校経営について地域の皆さんにご意見を伺い、そして今まで以上にご協力を頂きながら生徒諸君の健全育成を進めることが大きなねらいとなっています。学校経営において保護者の皆さんをはじめとする地域の皆さん方にご支援ご協力いただくこと、地域の皆さんのために学校・生徒諸君が協力できることは何かを熟議し、さらに協働することが最も大切なこととなります。



今年度は4月以降のコミュニティスクールへの移行となったため、第1回の学校運営協議会を7月18日(火)に開催し、本年度の学校経営について説明しご理解を頂きました。また、協議会に先立ち授業を参観いただき、生徒諸君の授業の様子をご覧いただきました。本校の学校運営協議会の委員をお願いしたのは、次の方々です。

どうぞよろしくお願いたします。

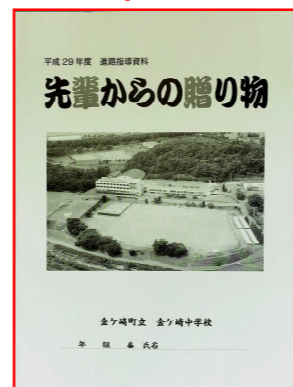
- 協議会長 西 (南方地区センター所長)
- 副会長 上松 (金中教育振興会長)
- 委員 佐藤 (町社会福祉協議会長)
- " 黒澤 (町体育協会会長)
- " 菊地 (町商工会長)
- " 榊 (JA金ヶ崎地域センター長)
- " 石川 (県立金ヶ崎高等学校長)
- " 中家 (元本校PTA役員)

<敬称略>

期末面談

7月19日(水)~24日(月)の平日の午後に一学期末面談を実施しました。1学期の学習と生活を振り返り、夏休みに向けての取り組みの確認をする機会となったものと思います。通知表には、今学期に努力してきたことが明確に現れたこと、まだまだ頑張りが足りなかったことそして2学期に向けての頑張りのポイントを示されているものと思います。教科評定の数字のみが注目されがちですが、観点別評価の項目のABCへも目を向けて学習取り組みへの振り返りを行ってほしいと思います。また、生活の様子等にも目を向けて学校生活の見直し、改善に努めて欲しいものです。『百錬自得』の精神で、粘り強く、諦めずに頑張りたいです。『努力は決して裏切らないものです！』

進路指導資料 先輩からの贈り物



1学期末(実はもっと早くに...と、思っていたのですが...)に平成29年度進路指導資料「先輩からの贈り物」を発行し、全校生徒に配付しました。

高校入試のしくみや各県立高校の推薦基準、各校で

の入試面接で聞かれたことや提出する資料(生徒自身が作成するもの、学校で作成するもの)そして近隣高校の様子を新聞記事(岩手日報の了解済)で紹介しました。これから学級指導、進路指導の時間で活用する予定です。この夏休みに是非ご家庭でも、保護者の皆さんもお子さんと共に一読して頂ければと思います。

一学期終業式

本日、一学期終業式を行いました。雨の中の体育祭で示した団結力、中総体で見せた金中生の活躍...輝かしい金字塔となって記憶と記録に残る1学期でした。

この1学期を振り返り、校長から次のことを話しました。

(前段落) 良き生活者であり続けることが、良きプレーヤーとなりうる第一歩であることを忘れずに、これからも努力を積み重ねてほしいものです。

さて、始業式に伝えたこと

「授業で勝負」 「先手必勝の挨拶」

「心を耕す読書」そして、「百錬自得」

はどうだったでしょうか。

一つ目の「授業で勝負」(要旨のみ)

「朱に交われば赤くなる」という言葉があります。何を最優先すべきなのか、授業で勝負するためには何が自分にとって必要なのかを考え、この夏休み、自らを厳しく見つめ直し、甘えることなく2学期に備えてください。

二つ目の「先手必勝の挨拶」(要旨のみ)

自分自身も、相手も1人の人間でそれぞれに人格があり、個性があります。互いに相手を思いやり、自分自身を成長させ、強く優しい自律した人間になりたいものです。

三つ目の「心を耕す読書」(要旨のみ)

乾いた大地に水を注ぐように、読書から得た知識、ものの見方、考え方は中学生諸君の頭脳にドンドン吸収され、大きなエネルギーとなります。

そして、四つ目「百錬自得」(要旨のみ)

夏休みこそ、理解できるまで、納得するまで何度も繰り返し、繰り返し取り組みを重ねて自らの可能性を大きく広げなければ成らない時です。自らを厳しく見つめ、各々の計画実行及び目標達成に向けて諦めず、粘り強く、着実に歩み続けることを期待しています。